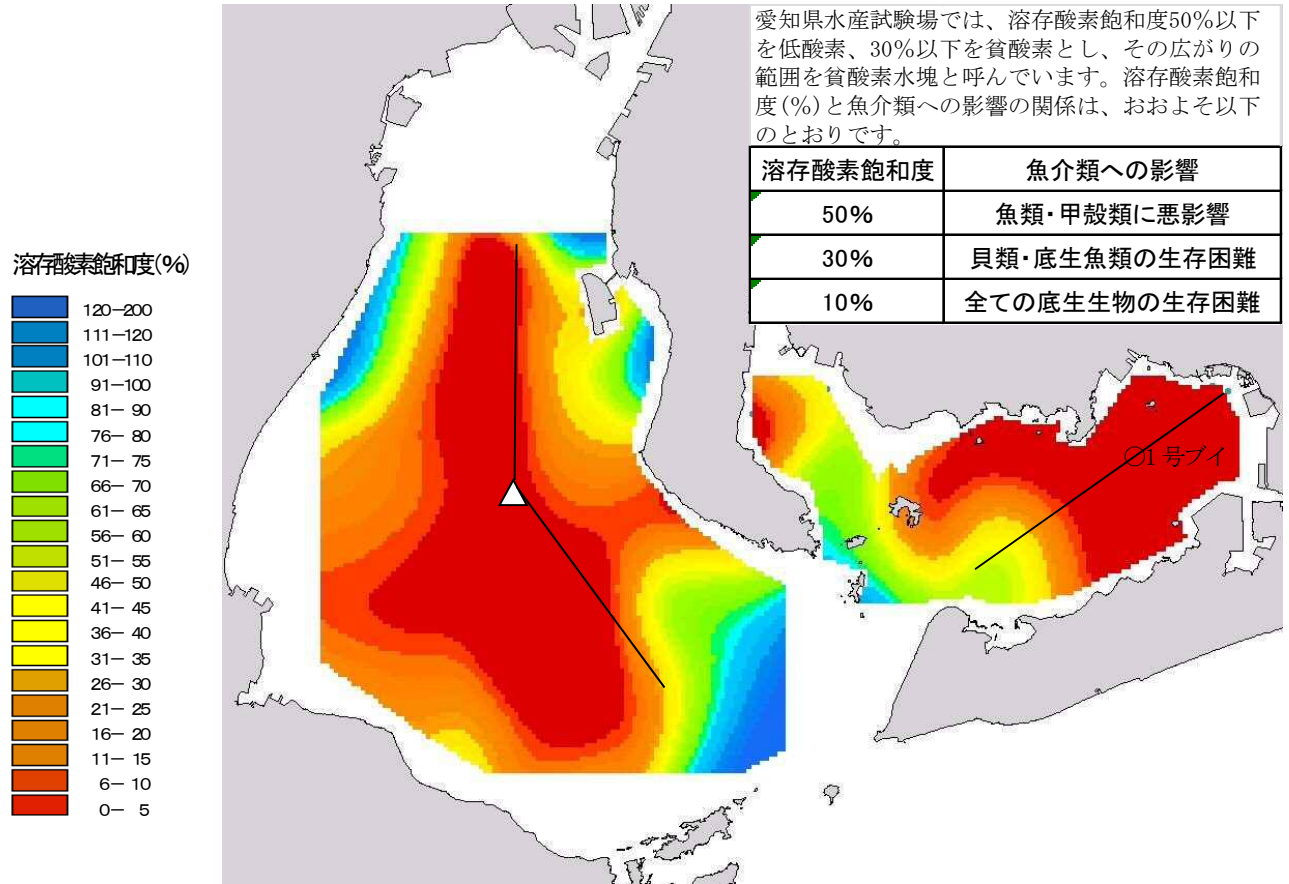


伊勢・三河湾貧酸素情報(H29-7号)

平成29年8月8日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成29年8月1、2、3日に伊勢湾、8月2、3日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。



伊勢湾奥

湾口

三河湾奥

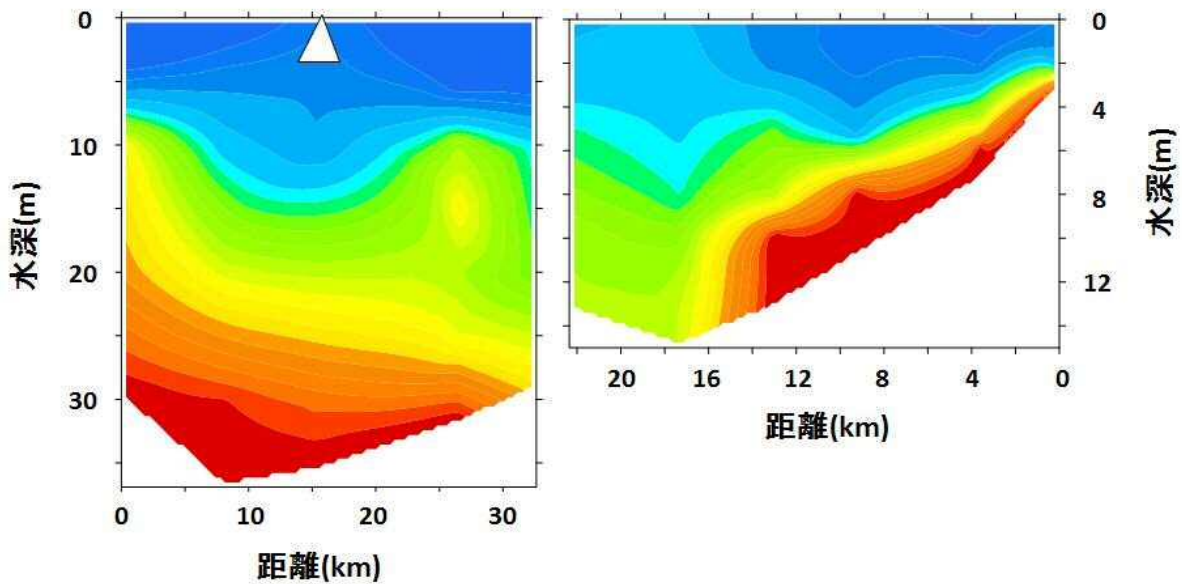


図1 伊勢湾(8月1、2、3日)・三河湾(8月2、3日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「海幸丸」「〜いわ」調査)

伊勢湾

8月1、2、3日の結果を図1に示しました。前回調査(7月25、26日)に比べて、湾央部で溶存酸素飽和度10%以下の範囲が拡大しました。

今後は、台風第5号の影響により、海水の上下混合が起こり、貧酸素水塊の規模は一時的に縮小すると考えられます。

表 1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	26.7~29.5	18.6~31.7
底層	16.7~27.1	27.7~34.2

三河湾

8月2、3日の調査結果を図1に示しました。前回調査(7月25日)と同様に渥美湾では湾奥から湾央部で貧酸素水塊が確認されました。また、知多湾の一部でみられた貧酸素水塊は溶存酸素飽和度30%以下の範囲が拡大していました。

自動観測ブイ(1号ブイ：蒲郡沖)のデータをみると、前回に引き続き、海底から5mの厚みで貧酸素水塊が発達している様子が観測されています(図2)。

今後は、台風第5号の影響により、海水の上下混合が起こり、貧酸素水塊は一時的に解消すると考えられます。

表 2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	24.5~29.3	27.7~32.6
底層	21.4~26.3	32.3~33.5

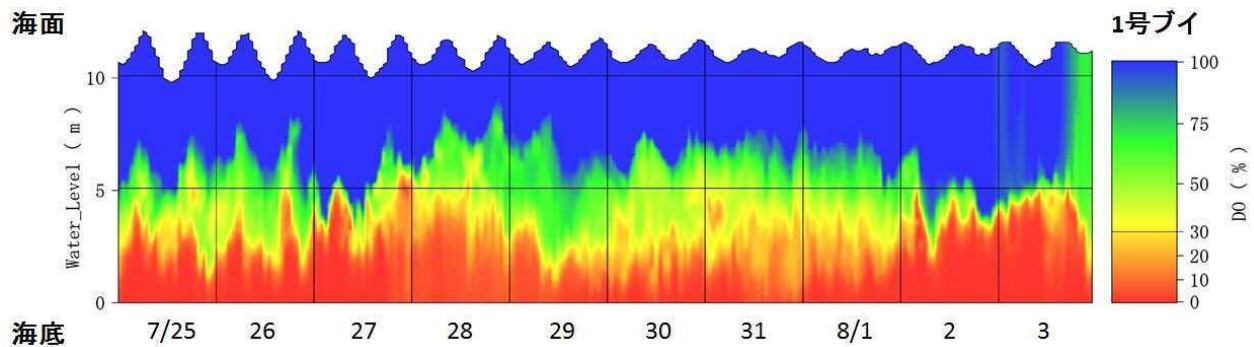


図2 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(自動観測1ブイ号)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

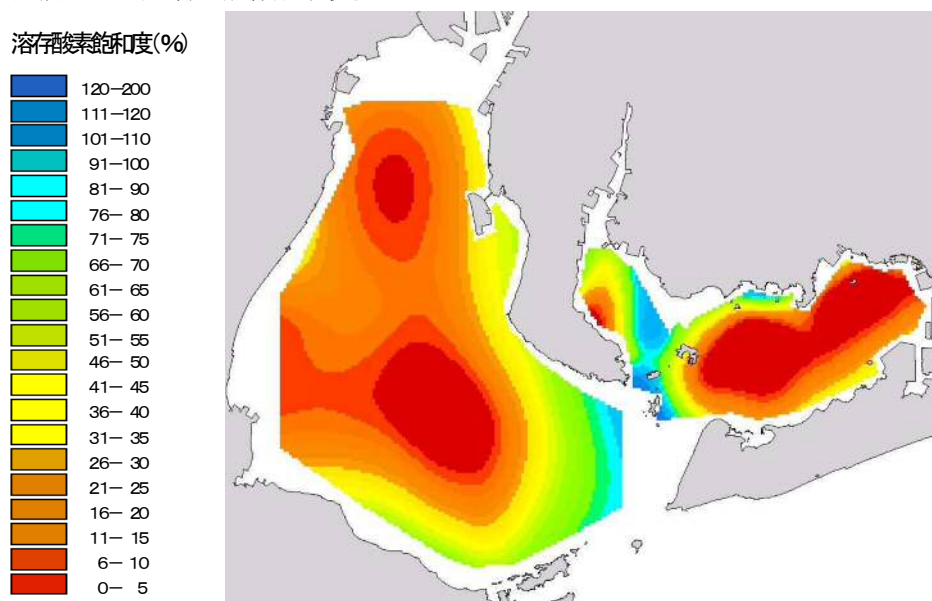


図3 平成29年7月25、26日(伊勢湾)、7月25日(三河湾)